



ねずみじょうど

瀬田 貞二 再話 丸木 位里 画

福音館書店 1971年 780円

28ページ 27×19cm

そばもちを追いかけて行ったおじいさんが、ねずみに連れていかれた場所では、「ねずみのじょうど ねこさえ いなけりゃ このよは ごらく とんとん」とねずみが歌をうたいながらもちつき・こがねときをしていました。墨絵の色づかきも浄土の雰囲気を与えています。響きのいい言葉でかかれていますので、声に出して読んで、子どもと一緒に昔話の世界を楽しんでください。

表紙と裏表紙のねずみは仏様の手の上で居心地がよさそうです。読み終わったら、ねずみの顔を覗いてみてください。



ねむりひめ

グリム童話

フェリクス・ホフマン え せた ていじ やく

福音館書店 1963年 1365円

32ページ 31×22cm

お祝いの宴会に呼ばれなかった13人目の占い女に「15になったら、つむにさされて、しぬぞ！」と呪いをかけられて100年の間ねむりつづけるお姫様、有名なグリムのお話です。お城中にひろがった眠りとお城をつつみかくしたいばらの様子が画家の手で再現されています。絵をみていると物語が語りかけてくるようです。日本語の文章も流れるようにスムーズです。100年の眠りからさめたお城の様子を楽しんで下さい。

ホフマンの絵は自分の子どもたちへの贈りものとしてつくられました。その手描きの絵本が、やがて世界の子どもたちへも贈られたのです。